



# 歩行者との安全な共生を図るため、 自転車利用環境の改善を進めます

現況



目標



昨年度の  
成果

平成17年度は、歩行者と自転車空間の視覚的分離を行う予定でしたが、関係機関との調整が遅れたため、計画通りに実施できませんでした。

今年度の  
取り組み

幅広い幅員の歩道について、歩行者と自転車空間の視覚的分離を積極的に行います。

代表的な事業	目標	事業の説明
一般国道54号(中央局北～白神社前)	0.25km	歩道に区画線などの路面標示を行い、視覚的に歩行者・自転車を分離します。
一般国道2号(国泰寺～新明治橋東)	0.7km	歩道に区画線などの路面標示を行い、視覚的に歩行者・自転車を分離します。
中広宇品線(県立広島大前～段原中央)	2.1km	歩道に区画線などの路面標示を行い、視覚的に歩行者・自転車を分離します。

歩行者・自転車分離の整備率の指標

H16 基準実績(\*)  
**9% (3.2km)**

H17 **未達成**  
目標 **18% (6.3km)** ▶ 実績 **9% (3.2km)**

H18 目標  
**18% (6.3km)**

H19 目標  
**36% (12.5km)**

\*広島市において平成17年度に「交通ビジョン推進プログラム」が策定されたのをうけ、平成17年度から推進プログラム内で使用されている「広島市中心部における歩行者・自転車分離の整備率」を指標として採用しています。尚、本指標は広島市中心部において自転車道の整備や舗装色の違いなどによる歩行者と自転車が分離されている道路の整備率を表現したものです。

## 平成18年度の取り組み 一般国道2号・54号・及び中広宇品線

